



自律移動警備ロボット



SQ-2 SECURITY ROBOT

SQ-2は、3次元センサー技術・自己位置推定アルゴリズム・リアルタイム経路計画アルゴリズムなど高度なテクノロジーを駆使することで生まれた自律移動型の警備ロボットです。人手不足が深刻な巡回警備業務を人に代わって、もしくは人と分担して行うことができます。独自の3Dライダーを搭載し、警備対象物件の詳細な3次元マッピング、移動歩行者をはじめとした動体の発見、環境の変化検出を行うことが可能です。また、クラウドシステムとの連携により警備拠点から遠隔で各種警備業務（巡回業務、立哨業務、動哨業務）を行うことができます。

自律移動警備ロボットSQ-2の特長

SQ-2の高度な自律移動性能とリアルタイム通信システムを活用することで、警備業の負担を軽減し、より高度で安全性の高い警備の実現に貢献します。

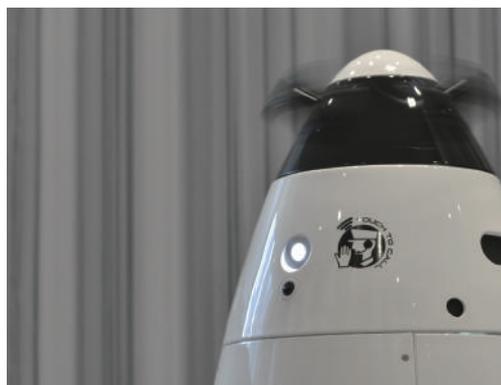
巡回業務

予め決められた巡回ポイントを自律的に移動し、監視・点検業務を行います。巡回中はロボット正面に取り付けられたカメラにより映像をリアルタイムで配信します。巡回ポイントでは写真を撮影し、写真はクラウド上に保存されます。警備員は巡回終了後に保存された写真を確認し、異常がないかどうか確認することができます。



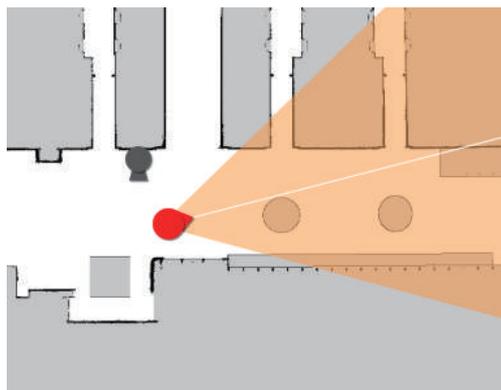
立哨業務

警備ポイントに立って監視業務を行います。周囲360度を映し出すカメラを搭載しており、警備拠点の遠隔操作モニターよりロボット周辺をリアルタイムで監視することができます。また、マイクとスピーカーを搭載しており、現場からの問い合わせに対応することができます。



動哨業務

警備拠点から遠隔にてロボットを操作することができます。地図上の任意の地点を指定することで、ロボットが当該地点まで自律的に移動します。立哨業務中に不審物を発見したり、怪我人を発見したりした場合にロボットを移動させて確認したり、対象者と通話することができます。



クラウドシステム

SQ-2は独自のクラウドシステムと高度に連携して動作します。警備拠点からクラウドシステムを通して遠隔でSQ-2に指令を出し、各種警備業務を行うことができます。

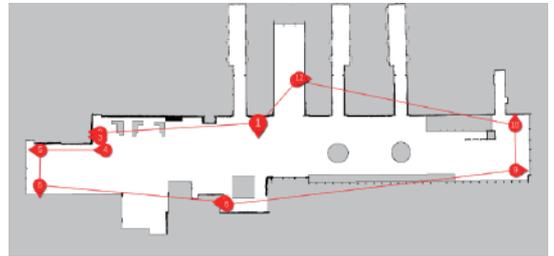
映像のリアルタイム監視

ロボットに搭載されているカメラの映像をリアルタイムで監視することができます。正面カメラと360°カメラの2種類を切り替えて表示できます。



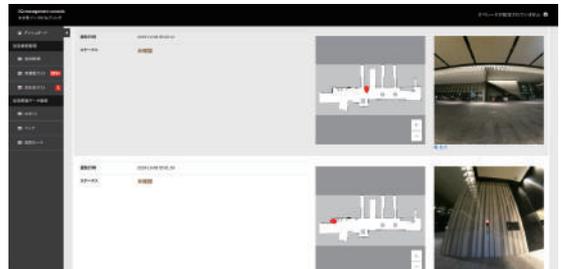
巡回業務の実行

予め設定した巡回ポイントを巡回させることができます。各巡回ポイントでは写真撮影が行われ、写真はクラウド上に保存されます。



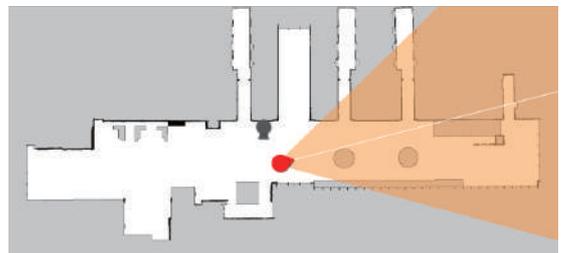
巡回結果の確認

各巡回ポイントで撮影した画像が一覧で表示されます。設備に異常がないか、不審物がないか等を確認することができます。



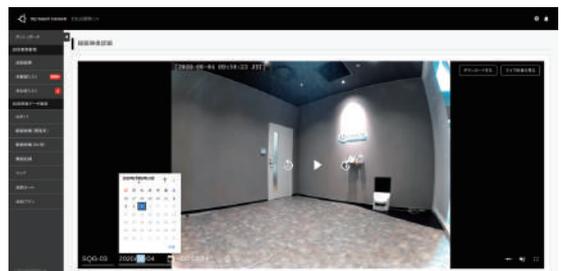
指定位置への移動

巡回中や立哨中に、指定した位置へロボットを移動させることができます。地図上で位置を指定するだけで、ロボットが自律的に移動します。



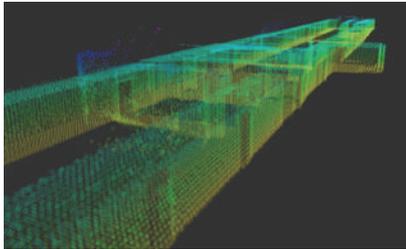
録画機能

カメラの映像は直近14日間までクラウド上に保管されており、いつでもさかのぼって映像を確認することができます。



3D LIDAR

独自の3D LIDARを搭載。環境の三次元モデリング、移動物体や歩行者の発見、日常と異なる環境の変化を自動的に検出します。人間や固定カメラなどでは難しい夜間や暗部、死角となる部位のセンシングも可能です。



Front Camera

ロボット正面に高解像度カメラを搭載。映像をリアルタイムで警備拠点に配信します。



重量	全高	
65 kg	1300 mm	
走行速度	稼働時間	充電時間
1.4 km/h	最大 6 時間	フル充電 1.5 時間



Microphone

マイクとスピーカーを搭載。ロボットの警備マークに手をかざすと、警備拠点と繋がり警備員と通話することができます。



360° Camera

周囲 360 度を撮影可能なカメラを搭載。警備拠点の遠隔モニターによりロボット周辺をリアルタイムで監視することが可能です。



Auto Charging

自動充電機能を搭載。バッテリー残量が減少した場合、自動的に充電ステーションに帰還し充電します。充電のオペレーションは一切不要です。

会社概要

社名	SEQSENSE株式会社
設立日	2016年10月3日
代表者	中村 壮一郎
事業概要	自律移動型ロボット及びその関連製品の開発
資本金	12億304万円(資本準備金含む)
所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2-3
電話番号	050-2018-7860

取扱い委託